

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,212千円	6,736千円	7,384千円	0千円
	総人件費	51,282千円	35,536千円	14,214千円	
	総事業コスト	52,494千円	42,272千円	21,598千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	01	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名	01	スズメバチ駆除事業	指標名	蜂の駆除				指標種別	活動結果指標		指標の概要	蜂の駆除件数					
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
	-		実績	469件	717件	551件	179件	-	-	-							
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
				改善目標 依頼者に迅速に対応できる電話受付等の体制の確立を図る。				改善目標 -									
市長公約	-		事業計画	職員による電話受付、現地調査等を迅速に行い依頼者の満足度の向上を図る。				事業計画	-								
個別計画	-																
根拠法令等	-																
事業分類	A 任意的事業																
執行体制	職員のみ		活動実績	緊急を要する駆除並びに調査が179件あった。				上半期活動実績	-								
事業の目的	スズメバチを駆除することで、市民の安全・安心を確保するため。																
事業の概要	市民からの駆除依頼に対し、直ちに現場に急行し駆除を実施する。																
ISO 14001	H29 環境関連性	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-				
	H30 環境関連性	-		評価	有効性	【終了】中：適切な成果が得られている	有効性	-	評価	有効性	-						
				評価	効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている	効率性	-	H31年度の方向性		-	理由	-				
				評価	総合評価	—：事業の終了	総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,212千円	6,736千円	7,384千円	0千円
	総人件費	51,282千円	35,536千円	14,214千円	
	総事業コスト	52,494千円	42,272千円	21,598千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	01	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名	02 市道の簡易補修事業				指標名	道路の簡易補修				指標種別	活動結果指標				指標の概要	道路の簡易補修件数																																				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度																																								
戦略プラン	-				実績	260件	584件	309件	335件	-																																										
	-																																																			
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標																																						
	-					-				-				-																																						
	-					-				-				-																																						
市長公約	-				事業計画	交通量の多い路線は、作業人員と通行車両の安全確保のため人員を配置していく。関係課と連携し進める。				事業計画	-				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初																																	
個別計画	-														事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円																																	
根拠法令等	-														活動実績	市民等からの通報や要望、また市道パトロールにより335箇所を補修した。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																							
	事業分類	A 任意的事業				成果	要望箇所や現場確認時に発見した破損場所の補修は全て完了した。H29年度をもって事業は終了。				上半期成果	-													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																							
		執行体制	職員のみ																						課題	-				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円													
			事業の目的	市道の破損箇所の道路補修を実施し、パンクや事故等を未然に防ぎ道路の安全確保を図る。																															事業の概要	道路補修については、破損箇所に常温合材を投入し、歩行者や車両の安全を確保する				H31年度当初積算根拠	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
				ISO 14001	○ 地球温暖化の防止 達成																																								評価	有効性 【終了】中：適切な成果が得られている				有効性	-	
道路の補修をすることにより、走行が円滑になりCO2排出削減になる。					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)	21,978千円	10,661千円	0千円																																				
ISO 14001	H29 環境関連性				評価	効率性 【終了】中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				H31年度の方向性	理由 -																																				
	H30 環境関連性																			有効性 -				-																												
	-																											総合評価 -				-																				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,212千円	6,736千円	7,384千円	0千円
	総人件費	51,282千円	35,536千円	14,214千円	
	総事業コスト	52,494千円	42,272千円	21,598千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	01	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名	03	市民からの要望等への対応(道路スズメバチ以外)	指標名	蜂以外の対応				指標種別	活動結果指標	指標の概要	蜂以外の対応件数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	その他の指標	-					
	-	-	-	-	-	-	-	-							
実績	95件	82件	77件	67件	-	-	-	-	H29年度	H30年度					
	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	改善目標	-					
	-	-	-	-	-	-	-	-							
市長公約	-	-	-	-	-	-	-	-	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
個別計画	-	-	-	-	-	-	-								
根拠法令等	-	-	-	-	-	-	-	-	事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円		
	-	-	-	-	-	-	-	-							
事業分類	A 任意的事业		事業計画	通報のあった場所の状況を確認し、処理できるものと担当課へ依頼するものを速やかに区別し実施する。関係課と連携し進める。				事業計画	-	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
	執行体制	職員のみ													
事業の目的	通学路や市道の歩道・交差点などの除草作業を行い、歩行者や通行車両の見通しを確保し、通行者の安全を確保する。		活動実績	当室への要望は67件あったが、そのうち当室での業務は即日対応し、当室以外の業務は関係部署への引継ぎを迅速に行った。				上半期活動実績	-	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	事業の概要	通学路等の除草作業を行う。		成果	関係部署と連携を図りながら、適切かつ速やかに対応を行った。H29年度をもって事業は終了。										
課題		-			課題	-				-	-	正職員	従事割合	1.00人	1.00人
	ISO 14001	H29環境関連性	-	事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	-	事業の進捗状況						
H30環境関連性		-	有効性		【終了】中：適切な成果が得られている			有効性		-	H31年度当初積算根拠	-	理由	-	
評価	効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-	総合評価	-							
	総合評価	—：事業の終了			総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,212千円	6,736千円	7,384千円	0千円
	総人件費	51,282千円	35,536千円	14,214千円	
	総事業コスト	52,494千円	42,272千円	21,598千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	01	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名	04	スズメバチ駆除業務委託事業	指標名	スズメバチの巣の駆除委託				指標種別	活動結果指標		指標の概要	スズメバチの巣の駆除委託件数					
戦略プラン	-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
	-		実績	-	-	-	889件	-	-	-							
総合戦略	-		改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-				
								すべてが外部委託となるため、依頼を受けた市と委託業者との的確な連携を図りながら、速やかに駆除を実行していく。									
市長公約	-		事業計画	職員による受付、現地調査等を迅速に行い、依頼者の満足度の向上を図った。				事業計画	受付時における説明を的確に行い、委託業者への手配を速やかに実施することで、スズメバチの営巣の駆除や現地調査を早急に終了させ、市民の安心安全な生活を確保する。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-												活動実績	委託業者への営巣駆除依頼が794件、飛来や種類不明等の調査依頼が95件であった。			
根拠法令等	-		成果	委託業者への総依頼件数が889件と発生件数が多い年であったが、職員による対応も行いお客様の不安感を払拭した。				上半期成果	国庫支出金	0千円	0千円	0千円					
事業分類	A 任意的事业								課題	駆除する蜂と駆除しない蜂の周知徹底を図り、委託業務を円滑に進められるようにする。				課題	県支出金	0千円	0千円
執行体制	全て委託		事業の概要	市民からの駆除依頼に対し、駆除業務を業者に委託する。				課題							地方債	0千円	0千円
事業の目的	スズメバチの巣を駆除することにより市民の安全・安心を確保するため。								事業の進捗状況	達成				改善目標の進捗状況	-		その他特財
事業の概要			評価	有効性 中：適切な成果が得られている				評価							-		一般財源
									H29 環境関連性		-		-		人件費(B)	0千円	7,107千円
ISO 14001		H30 環境関連性		-		-		-		正職員	従事割合	0.00人	1.00人	2.00人			
										時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間				
										臨時職員等	-	無	無				
										事業コスト(A+B)	0千円	13,155千円	21,598千円				
										H31年度当初積算根拠							
										H31年度の方向性							
										理由							